

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		多機能型事業所ほーぶ				公表日	年	月	日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		1階、2階、庭に分かれ一人当たり十分なスペースを確保しています。又、庭もあり身体を使った遊びを提供しています。				
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		学生のアルバイトを複数名来もらう事で配置基準以上の職員を配置しています。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		写真や絵カードを使い視覚的にもわかりやすく掲示している。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		事業所内の危険個所は適宜職員全員で話し合いをして子どもたちが安全に活動できるように環境づくりを行っています。				
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		相談室や静養室をクールダウンなどに活用している。				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6		朝礼時に確認、前日の振り返りを行っています。又、月1度の会議で職員の意識の統一、課題解決に向けて話し合っています。				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	年1度のアンケート、大きな行事の開催時に保護者の方に意見を聞いたりしています。				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		会議等の中で職員同士でコミュニケーションをとる機会を設け思いや意見を伝え合う場を設けています。				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6		現在は第3者による外部評価を受けていません。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		年間の研修スケジュールを元に防災、感染、事例検討などの研修を行っています。				
支援体制	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページ上に公表しています。				
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		契約時に聞き取りを行っています。モニタリング時期にも現在の様子や保護者の方の思いの確認を行っています。				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		可能な限り全職員が計画案の会議に参加し情報の共有、方向性の理解を深めています。会議に参加出来なかった職員には都度報告をしています。				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		全職員に情報を共有し計画に沿った支援を心がけています。				
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		標準化されたアセスメントツールを使用し、適応行動の状況を把握しています。				

適切な支援の提供	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		令和6年4月より5領域に沿った計画を作成し意識した支援を行いかつ関係機関との連携、地域連携など意識しています。	
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		職員で意見を出し合い作成し管理者が確認を行い修正等あれば行っています。	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		季節の行事やイベント、出かける公園などバランスよく計画しています。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		児童のその日の様子などを見て個別対応、集団対応と支援を分けています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		1日の流れを作成し職位間で共有し確認しています。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		6	現在は次の日の朝に前日の振り返り等を行っている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		ケース記録に日々の様子を記録しています。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		定期的にモニタリングを行い、都度保護者の方の意向を確認しています。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		令和6年4月にあつた報酬改定後、再度認識を確認し意識した支援を行っています。	
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		予定と一緒に考えるなど子どもたちが意欲的に参加しやす内容の提供を行っています。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	27 地域の保健、医療(主治医や協力医療機関等)、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保健師さん等と連携し児童の様子など情報交換など連携しています。	
	28 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	6		変更等あればその都度情報共有を行っています。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		必要に応じて連携を行っています。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		6		現在までに卒業する児童はまだいてないです。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6		児童発達支援センターとの連携はまだない状況です。今後は連携を図りたいと思っています。
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		現在は交流の場はないが今後イベントなど交流する機会を作っていくたい。

保護者への説明等	33 (自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	2		通所事業所連絡会などの子ども部会への参加は行っています。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		ノートや送迎時など保護者の方とは意見交換の場を持っています。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		現在は研修等の機会は設けられておらず今後は保護者の方が参加しやすい形で研修の機会を作っていく予定です。
非常時等の対応	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明しています。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		契約時のアセスメント、日々の利用時の保護者の方の相談などを考慮して計画を作成しています。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		説明を行い同意を得ています。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	送迎時やノート、個別の面談は行っています。	定期的な面談は行えておらずモニタリング時期の面談は行っています。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		6		現在、父母会はありません。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		相談事などがあった場合は迅速かつ個人での対応ではなくチームで対応をしています。	
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		6		SNS等を用いた発信はありませんが各月の予定表などで情報を保護者の方に伝えています。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		閲覧場所を決め閲覧後速やかに鍵付き書庫に保管しています。	
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		環境設定、視覚情報、支援のを活用して伝わりやすい言葉、分かりやすい説明を心がけています。	
非常時等の対応	45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		6		今後は近隣の方を招いたり参加型の行事を考えたいと思っています。
	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルを策定し訓練を行っています。	
	47 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		マニュアルを策定し訓練を行っています。	
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		保護者の方に聞き取りの段階で確認しています。	
	49 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		保護者の方に聞き取りの段階でアレルギーの有無を確認しています。	
	50 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		普段の活動の中では安全面に配慮した1日の流れ等を作成して職員間で共有しています。	

心	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		安全計画を策定しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		朝礼時に確認、前日の振り返りを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に研修等を行っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6			現在、身体拘束が必要な利用児童はいていないが研修の中で全職員で話し合いを行っている。